

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	小学校修繕事業	会計名称	一般会計		担当課	学校教育課	
		予算科目	10 款 2 項 1 目	事業番号	4230	所属長名	鶴岡 正直
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	武知 斉	
法令根拠等					実施期間	【開始】	平成 28 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 学校教育環境の整備・充実					【終了】	平成 28 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割							
事業の対象	市内9小学校			事業の目的	児童が安全で安心して過ごせる学校施設の維持管理を図る。		
事業の内容 (整備内容)	小学校施設及び設備の修繕・改修			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績	
直接事業費	17,320	26,802	0	0	0	19,855	整備状況	%	100	90	46	74	
財源内訳													
国庫支出金		0	0	0	0	0							
県支出金		0	0	0	0	0							
地方債		0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0							
一般財源	17,320	26,802	0	0	0	19,855							
職員の人工(にんく)数	0.10	0.30				0.30							
1人当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086							
※ 直接事業費+人件費	18,124	29,228				22,281							
主な実施主体			実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計			
										0			
成果指標	指標	支出額÷予算額	単位	⇒	区分年度	27 年度	28 年度	- 年度	目標 28 年度				
	指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えるが、設定が困難であるため、予算額(学校の要望)に対する執行率を指標として整備状況を示す。なお、効率化・コスト削減を図りながら適正な執行に努める。			目標	90							
	指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		市内には老朽化した学校施設が多く、かなりの頻度で各学校から修繕依頼が発生している。内容についても緊急性を要するものから軽微なものまで程度の差もある。予算が限られているため、全てに対する対応が不可能であるので、修繕の要否の判断の見極めや計画的な予算執行が必要であると思われる。												
事務事業の事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点	学校施設を適切に維持管理し、児童の利便性や教育環境の改善を図ることにより、児童が安全で安心して学校生活が送れる環境が整備された。修繕依頼については、管轄依頼書の提出を学校へ求め、書類で内容を確認できないものは、現地確認または学校へ聞き取りを行い、修繕の要否判断を行うほか、優先順位をつけて、効率的に予算を執行することができた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B			事業の苦労した点・課題	軽微なものについては学校教育課で判断ができるが、専門的なものについては土木管理課や都市住宅課職員に事務委任を行い、対応をしてもらわなくてはならない。委任先が業務過多の場合、対応に時間がかかる場合がある。
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の苦労した点・課題	軽微なものについては学校教育課で判断ができるが、専門的なものについては土木管理課や都市住宅課職員に事務委任を行い、対応をしてもらわなくてはならない。委任先が業務過多の場合、対応に時間がかかる場合がある。			
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 老朽化した施設が多くあり、修繕の必要な施設も多い。安全確保の面から、優先順位をつけ、継続的に取り組まなければならない。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所屬長の課題認識	学校からの要望が大変多い。全てに対応することはできないが、優先順位をつけ、学校にも理解を得ながら取り組む必要がある。			
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所屬長の課題認識			学校からの要望が大変多い。全てに対応することはできないが、優先順位をつけ、学校にも理解を得ながら取り組む必要がある。		
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	